

第2回 金沢方式あり方検討懇話会

令和6年8月29日（木）

第1回懇話会での主な意見

①金沢方式と周知・広報

委員からの発言要旨

金沢方式は、「地域主導」、「地域のボランティア」、「地域の一定負担」の3つが特徴。

地域コミュニティに関する全町会長へのアンケート結果で、50歳代の若い町会長を中心に、金沢方式のことがほとんど知られていない。

金沢方式というまちづくりの文化の中で、地域コミュニティが維持されてきたことを広く市民に周知していくことが必要。

校下でどのような活動が行われているのか、金沢方式をさらに分かってもらうための取り組みが必要。

公民館長にも、金沢方式の特徴が浸透していない。なぜ担い手が集まらないのか、なぜ希望する人が少ないのか、なぜ町会に入らないのかを考えると、活動の周知不足を感じる。

第1回懇話会での主な意見

②地元負担

委員からの発言要旨

地元負担が現在の割合となった当時は人口が増加している時期。それが現在まで続いており、当時より負担感が大きい。

公民館に関しては、運営費にも地元負担が入っており、地域で集めた町費等の配分先として最も大きい。

住民にとって地元負担は、いつも利用している公民館やポンプ車等の役に立っているという意識があり、地域の大切な財産である。

金沢方式により、住民が地域活動に協力的な様子が見受けられる。

地元が負担することで、地域の人々の意識形成の重要な要素となっているため、この方式をこれからも継続していくべき。

地元負担がどのように使われているのかを広く知らせていくべき。

第1回懇話会での主な意見

③担い手

委員からの発言要旨

地域行事の担い手が減っていることから、これまでと違う方向で新たな行事や事業を考えて、次世代につないでいく工夫が必要。

消防分団では、担い手不足が課題であり、金沢方式を通じて地域主導やボランティア精神の意識醸成が大切。

児童館や放課後児童クラブでも、担い手不足が課題。

地域福祉においても高齢者や女性の就労により、日中に活動することが難しくなっている。

担い手が集まらないのは、活動の周知不足も原因ではないか。

第1回懇話会での主な意見

※その他

委員からの発言要旨

報道等で地域の区割りを見直す必要があるのではないかという意見が見受けられるが、この懇話会でその検討を行うことが適切なのか疑問。あくまで地域から見直しの意見があって、その上で検討されるべき。

消防分団では担い手不足が課題となっており、消防分団の構成の基礎である小学校区が学校の合併等で崩れつつある。

町会連合会も関わってくると思うが、安全安心の観点から分団員が極端に少ないところは、消防分団の合併が課題。

地域における主な課題

①金沢方式の周知・広報不足

②地元の負担感の増大

③担い手不足

現状と見直しの方向性

① 金沢方式の周知・広報不足

(1) 現状

主な市民向け広報

主な冊子、HP等	内容	主な配布先・公開場所
あなたがつくる公民館	公民館の組織や役割のほか、 金沢方式の特徴やメリット を説明	公民館運営審議会委員、 公民館委員
金沢市児童館 ポータルサイト	市内32の地区児童館と1つの 大型児童館の活動等を紹介	Webサイト（スマホ対応済）
消防団員募集 リーフレット	入団の条件や若手の先輩団員の 活動の様子を説明	各公民館

(2) 問題点

金沢方式について記載したものがほとんどない
配布先・公開場所が限定的

(3) 見直しの方向性

全市民への周知・広報の強化

現状と見直しの方向性

②地元の負担感の増大

(1) 現状

現行の地元負担の割合は、人口が増加している昭和40年代～50年代頃から変動がない

(2) 問題点

負担感が大きく、今の時代に適した割合になっていない

※負担感が増大している要因・背景

- ・人口減少、少子高齢化の進展に伴う担い手不足
- ・物価、資材の高騰に伴うイベント等の経費増
- ・施設の老朽化に伴う更新 など

現状と見直しの方向性

②地元の負担感の増大

(3) 見直しの方向性

地元負担の軽減

	区分	市負担割合	地元負担割合
施設整備費	公民館	75/100	25/100
	児童館	75/100	25/100
	消防分団	75/100	25/100

→軽減

	区分	市負担割合	地元負担割合
公民館運営費	公民館	75/100	25/100

→軽減

※児童館の運営費…国県補助が平成24年度の地方交付税措置化に伴い廃止され、以後、市が100%負担。
消防分団の運営費…国県補助の対象外で、市が100%負担。

現状と見直しの方向性

③担い手不足

(1) 現状

既存の担い手育成につながる事業（例）
地域コミュニティ・学生連携推進事業
児童館厚生員の処遇改善
地域女性リーダー育成事業 など

(2) 問題点

- ・ 事業を開始して日が浅く、まだ効果を見極められない
- ・ より多くの方への周知広報、さらなる内容充実が必要

現状と見直しの方向性

③担い手不足

(3) 見直しの方向性

担い手の育成には、継続した取り組みが必要となることから、関係する各計画に掲載している担い手育成に関する施策について、引き続き実践していくとともに、必要に応じて見直しを図るなど、取り組みを強化

関係する各計画（例）

- **金沢市地域コミュニティ活性化推進計画**
計画期間：令和5年度～9年度
- **金沢市生涯学習振興基本計画**
計画期間：令和3年度～7年度
- **かなざわ子育て夢プラン**
計画期間：令和2年度～6年度 など

現状と方向性

※その他

(1) 現状

- ・ 町会連合会の区域は、歴史的背景や地理的要因に加え、その後の人口動態などの変化も踏まえて、地域が主体となって合意形成を重ねて現在に至る
- ・ 消防分団の区域については、地元住民や校下町会連合会等との相互理解及び合意が得られた分団から見直しを検討する
「金沢市消防団管轄区域検討委員会検討結果報告書より」

(2) 方向性

区域の見直しについては、地域の総意による発議が基本であり、地域の要望等に応じ市が協力

第2回会議の論点

課題	方向性
①金沢方式の周知・広報不足	全市民への周知・広報の強化
②地元の負担感の増大	施設整備及び公民館運営における 地元負担の軽減
③担い手不足	関連する計画の継続した実践及び 計画の一部見直しと取り組みの強化

令和6年度の主なスケジュール

【スケジュール（案）】

時期	内容
7月22日	第1回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・概要説明・現状、課題等に関する意見交換
8月29日	第2回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・課題の整理、見直しの方向性 など
10～11月頃	第3回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・見直しに向けて取り組むべき事項 など
1～2月頃	第4回検討懇話会 <ul style="list-style-type: none">・とりまとめ